

令和4年5月18日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 笹木 義勝

室長補佐 北 恭子 (内線 7473)

(担当) 出生児縦断統計業務係 (内線 7566)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2321

## 第11回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の概況

### 目 次

調査の概要 .....	1 頁
結果の概要	
1 母の就業状況の変化 .....	3 頁
2 子どもの生活の状況	
(1) テレビを見る時間 .....	5 頁
(2) コンピュータゲームをする時間 .....	6 頁
(3) 学校以外での1日の勉強時間 .....	7 頁
統計表 .....	8 頁
用語の定義 .....	13 頁

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス ( <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/syusseiji/20/index.html> )

# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 22 年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察するとともに、21 世紀の初年である平成 13 年に出生した子を継続的に観察している調査との比較対照等を行うことにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

## 2 調査の対象

全国の平成 22 年（2010 年）5 月 10 日から同月 24 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第 11 回調査における対象児は 11 歳（小学 5 年生）である。

## 3 調査の時期

令和 3 年 5 月 25 日とした。

（参考：第 1 回調査から第 6 回調査は 12 月 1 日とし、第 7 回調査以降 5 月 25 日とした。）

## 4 調査事項

家族の状況、子育てに関する意識、父母の就業状況、起床・就寝の状況、食事の状況、学校生活・放課後の状況等

## 5 調査の方法及び結果の集計

調査票の配布及び回収は郵送により行った。第 10 回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

なお、結果の集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）において行った。

## 6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	配布数	回収数	回収率
第 1 回	43,767	38,554	88.1%
第 2 回	38,523	33,356	86.6%
第 3 回	37,582	32,380	86.2%
第 4 回	34,563	29,582	85.6%
第 5 回	32,830	28,161	85.8%
第 6 回	30,705	27,785	90.5%
第 7 回	29,434	25,397	86.3%
第 8 回	28,511	24,441	85.7%
第 9 回	27,397	24,204	88.3%
第 10 回	26,141	24,041	92.0%
<b>第 11 回</b>	<b>25,362</b>	<b>23,216</b>	<b>91.5%</b>

## 7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。  
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳（小学1年生）
第8回調査	8歳（小学2年生）
第9回調査	9歳（小学3年生）
第10回調査	10歳（小学4年生）
第11回調査	11歳（小学5年生）

注：第7回調査（7歳）は、第6回調査（5歳6か月）から1年6か月後に実施した。

- (3) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・

- (4) 「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」と「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の結果を比較する際は、それぞれを「平成13年出生児」、「平成22年出生児」としている。  
なお、「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」は、平成13年1月10日から同月17日の間及び7月10日から同月17日の間に出生した子を対象としたものである。
- (5) 新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の実施等に伴い、第10回調査と同様に例年とは異なる環境下での調査であった。
- (6) 本概況3～4頁「1 母の就業状況の変化」及び統計表1～2に記載している「出産1年前」、「出産半年後」の「出産」とは、調査対象である子の出産をいう。
- (7) 本概況5～7頁「2 子どもの生活の状況」及び統計表3～11に掲載している調査事項は、第7～10回調査までは保護者が回答し、第11回調査では子ども本人向けの質問として把握したため、比較には注意が必要である。

# 結果の概要

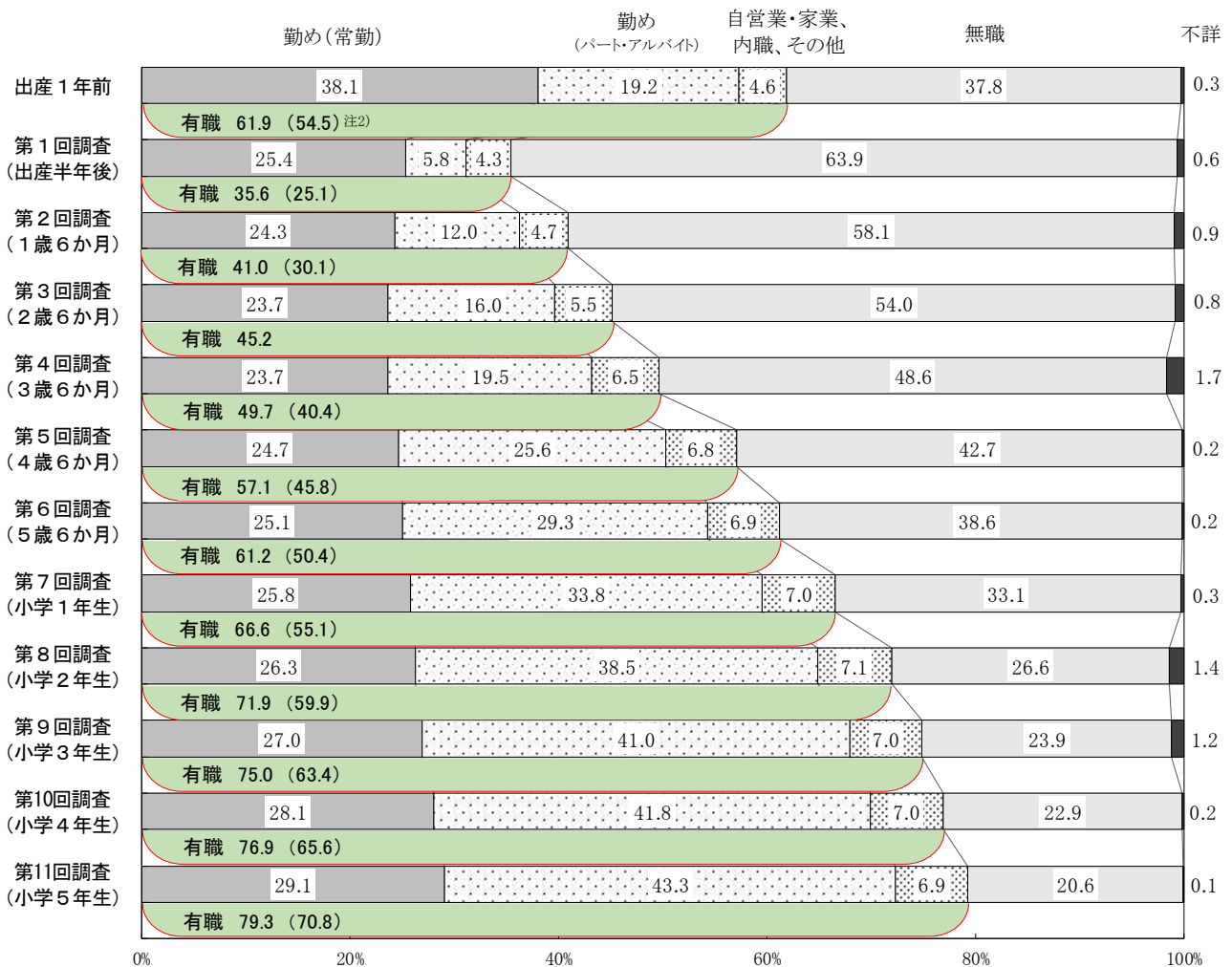
## 1 母の就業状況の変化

母が有職の割合は第11回調査（小学5年生）で79.3%となり、平成13年出生児（第11回）の70.8%に比べて8.5ポイント高い

母が有職の割合は、出産1年前の61.9%が第1回調査（出産半年後）で35.6%に低下したが、その後は年々上昇し、第11回調査（小学5年生）では79.3%となり、平成13年出生児（第11回）の70.8%に比べて8.5ポイント高くなっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め（常勤）」の割合は、第4回調査（3歳6か月）の23.7%から第11回調査（小学5年生）の29.1%までゆるやかな上昇傾向であり、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の5.8%から年々上昇し、第11回調査（小学5年生）では43.3%となっている。（図1）

図1 母の就業状況の変化・世代間比較



注：1) 平成22年出生児の第1回調査から第11回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 18,220）を集計。

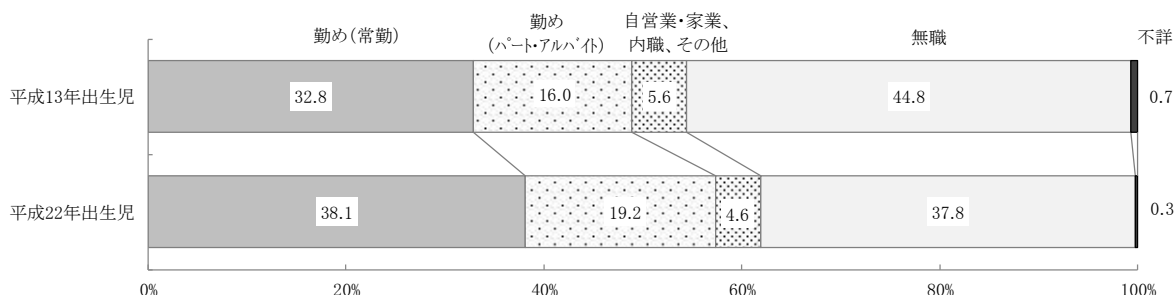
2) ( )内の数値は、平成13年出生児の第1回調査から第11回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 28,235）を集計したものである。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母のうち、第1回調査から第11回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は、平成22年出生児では35.4%で、平成13年出生児の25.2%に比べて10.2ポイント高い

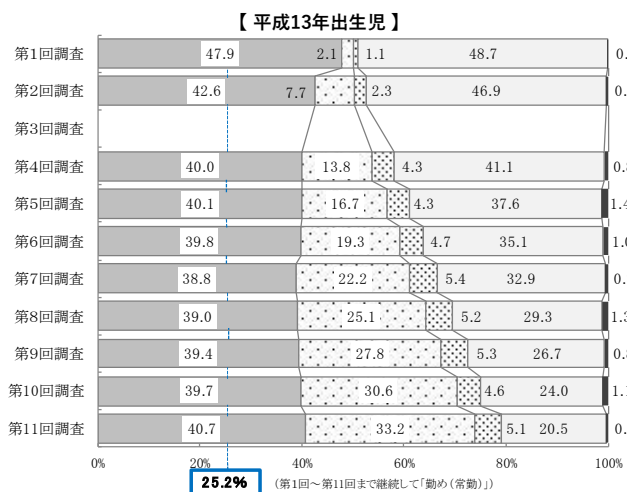
出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母について、第1回調査から第11回調査までの就業状況の変化をみると、平成22年出生児の各回における「勤め（常勤）」の母の割合は平成13年出生児よりも高い割合で推移し、さらに、第1回調査から第11回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は平成22年出生児では35.4%で、平成13年出生児の25.2%に比べて10.2ポイント高くなっている（図2）。

図2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較

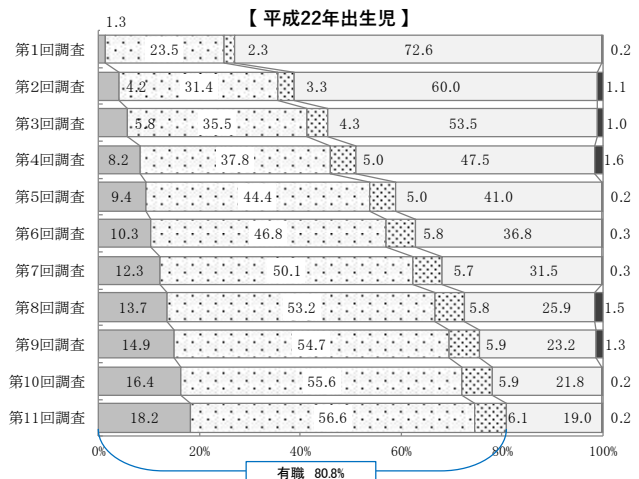
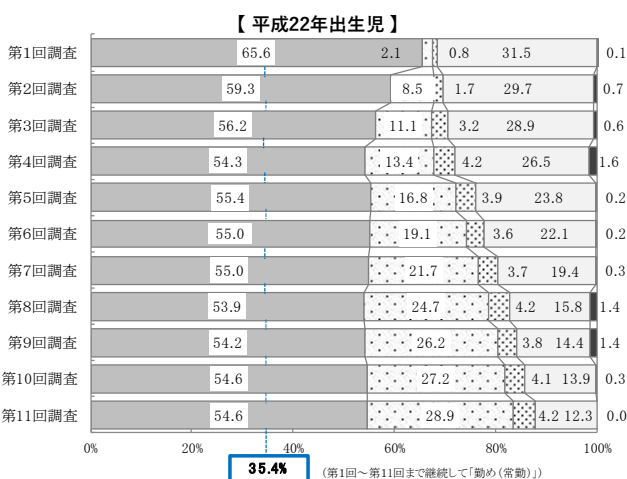
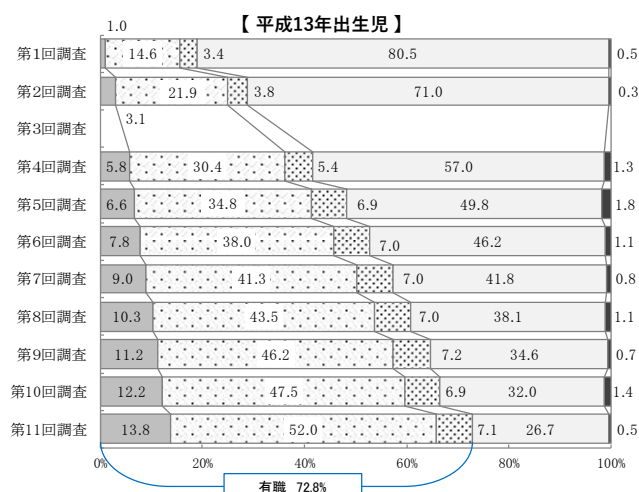
(1) 出産1年前の母の就業状況



(2) 出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母の就業状況の変化



(3) 出産1年前の就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の母の就業状況の変化



注：第1回調査から第11回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（平成13年出生児総数28,235、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」9,264、「勤め（パート・アルバイト）」4,525、平成22年出生児総数18,220、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」6,948、「勤め（パート・アルバイト）」3,491）を集計。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

## 2 子どもの生活の状況

### (1) テレビを見る時間

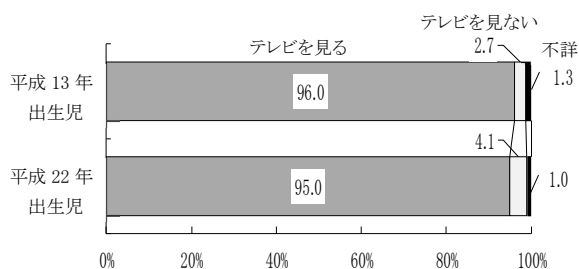
登校日にテレビを見る割合は平成13年出生児と同様に9割以上となっており、3時間以上テレビを見る割合は、学年が上がるにつれて上昇している

平成22年出生児について、登校日にテレビを見る割合は平成13年出生児と同様に9割以上となっている(図3)。

第7回調査(小学1年生)から第11回調査(小学5年生)までのテレビを見る割合の変化をみると、学年が上がっても9割以上となっている(図4)。

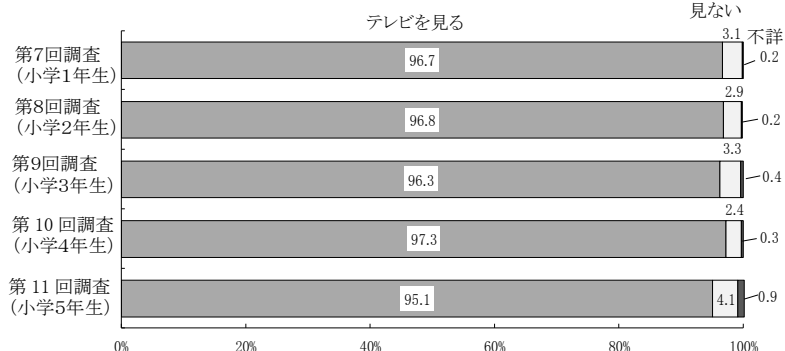
また、テレビを見る時間別にみると、3時間以上テレビを見る割合は、学年が上がるにつれて上昇している(図5)。

図3 テレビを見る状況(登校日)の世代間比較



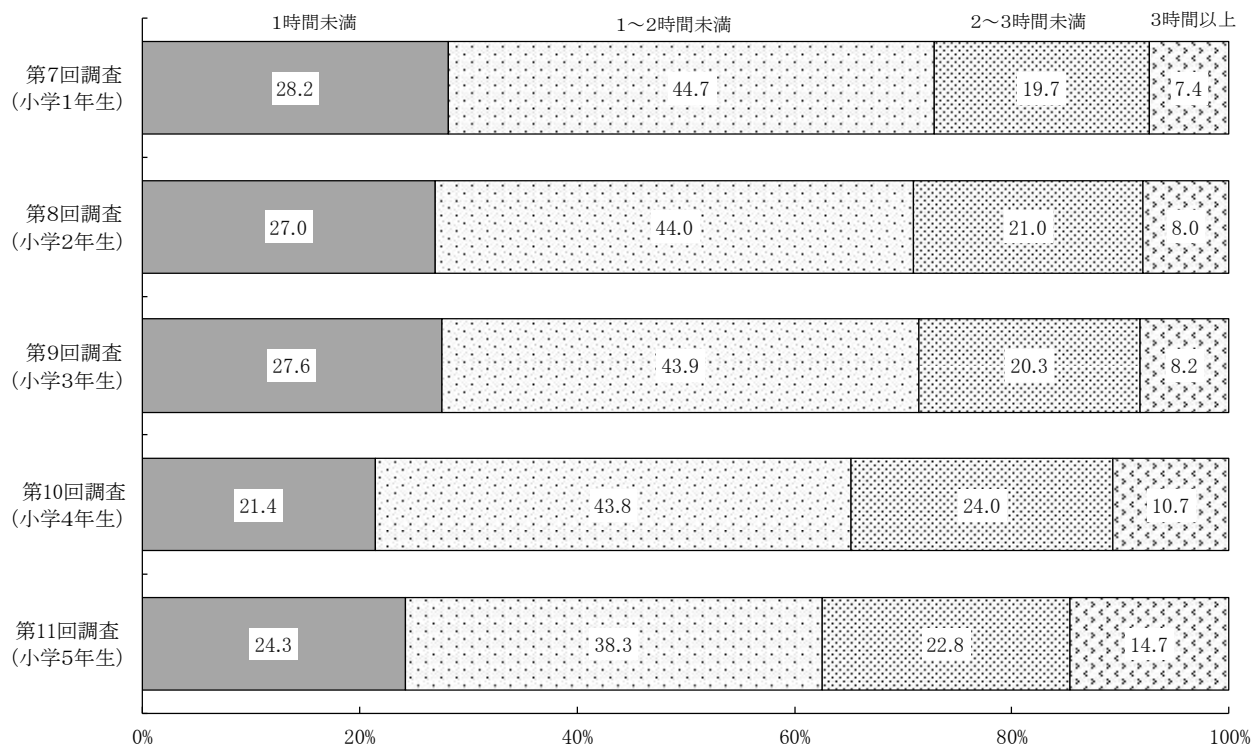
注：第11回調査の回答を得た者(平成13年出生児総数32,913、平成22年出生児総数23,216)を集計。

図4 テレビを見る状況(登校日)の変化



注：第7回調査から第11回調査まですべて回答を得た者(総数19,963)を集計。

図5 テレビを見る時間(登校日)の変化



注：第7回調査から第11回調査まですべて回答を得た者のうち、テレビを見る者(第7回 19,306、第8回 19,329、第9回 19,234、第10回 19,429、第11回 18,977)を集計。

## (2) コンピュータゲームをする時間

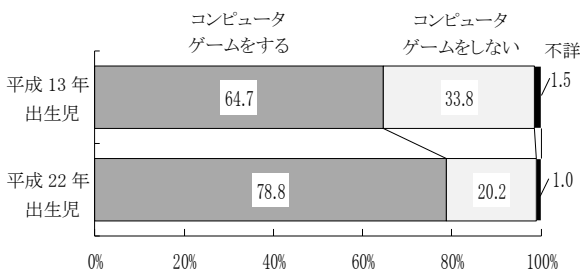
登校日にコンピュータゲームをする割合は78.8%と、平成13年出生児の64.7%に比べて14.1ポイント高く、学年が上がるにつれてゲーム時間が長い

平成22年出生児について、登校日にコンピュータゲームをする割合は78.8%と、平成13年出生児の64.7%に比べて14.1ポイント高くなっている(図6)。

第7回調査(小学1年生)から第11回調査(小学5年生)までのコンピュータゲームをする割合の変化をみると、学年が上がるにつれてコンピュータゲームをする割合が上昇している(図7)。

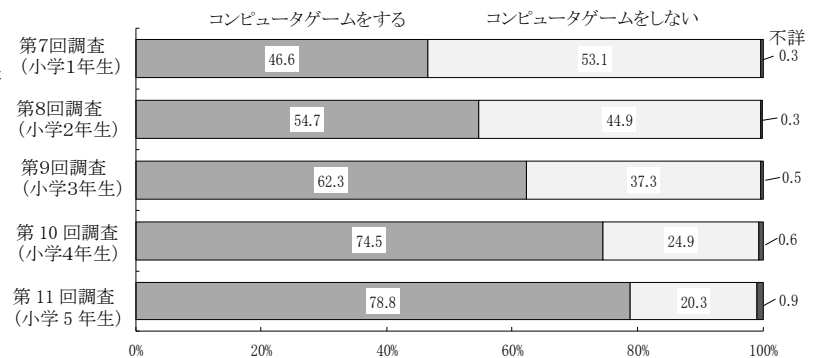
また、コンピュータゲームをする時間別にみると学年が上がるにつれて、コンピュータゲームをする時間が長くなっている(図8)。

図6 コンピュータゲームをする状況(登校日)の世代間比較



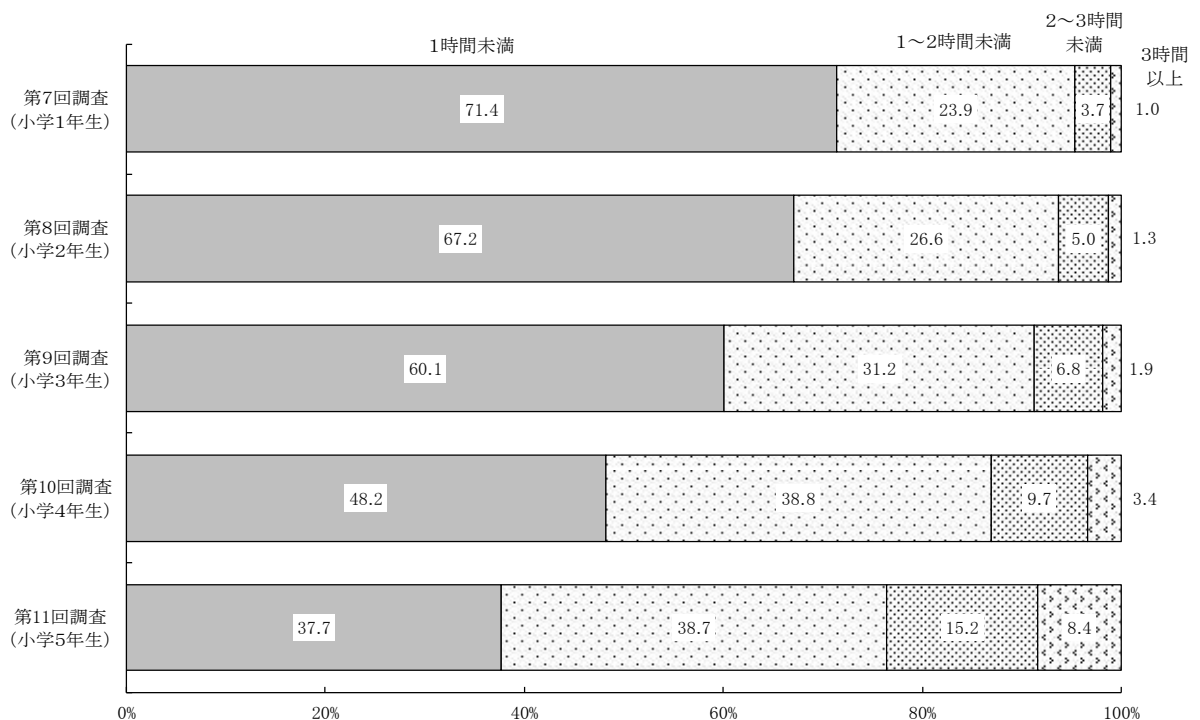
注：第11回調査の回答を得た者(平成13年出生児総数32,913、平成22年出生児総数23,216)を集計。

図7 コンピュータゲームをする状況(登校日)の変化



注：第7回調査から第11回調査まですべて回答を得た者(総数19,963)を集計。

図8 コンピュータゲームをする時間(登校日)の変化



注：第7回調査から第11回調査まですべて回答を得た者のうち、コンピュータゲームをする者(第7回 9,307、第8回 10,929、第9回 12,431、第10回 14,873、第11回 15,722)を集計。

### (3) 学校以外での1日の勉強時間

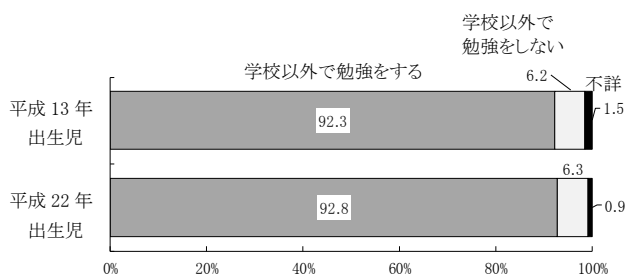
登校日に学校以外で勉強する割合は平成13年出生児と同様に9割以上となっており、1時間以上勉強する割合は、学年が上がるにつれておおむね上昇している

平成22年出生児について、登校日に学校以外で勉強(宿題や学習塾等を含む。)している割合は、平成13年出生児と同様に9割以上となっている(図9)。

第7回調査(小学1年生)から第11回調査(小学5年生)までのふだん学校以外で勉強する割合の変化をみると、学年が上がっても9割以上となっている(図10)。

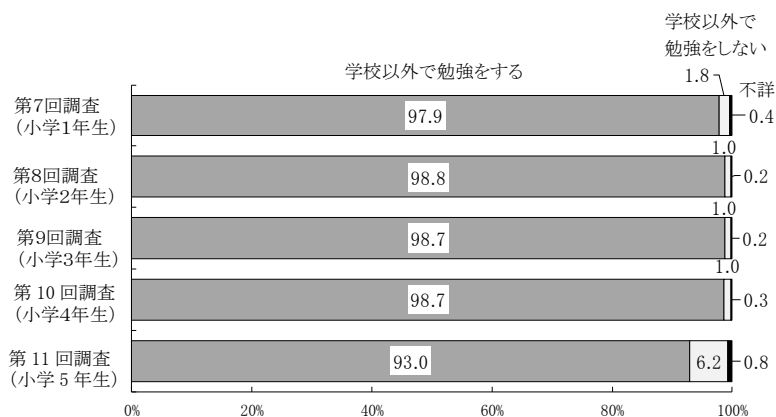
また、学校以外での1日の勉強時間別にみると、1時間以上勉強する割合は、学年が上がるにつれておおむね上昇している(図11)。

図9 学校以外での勉強状況(登校日)の世代間比較



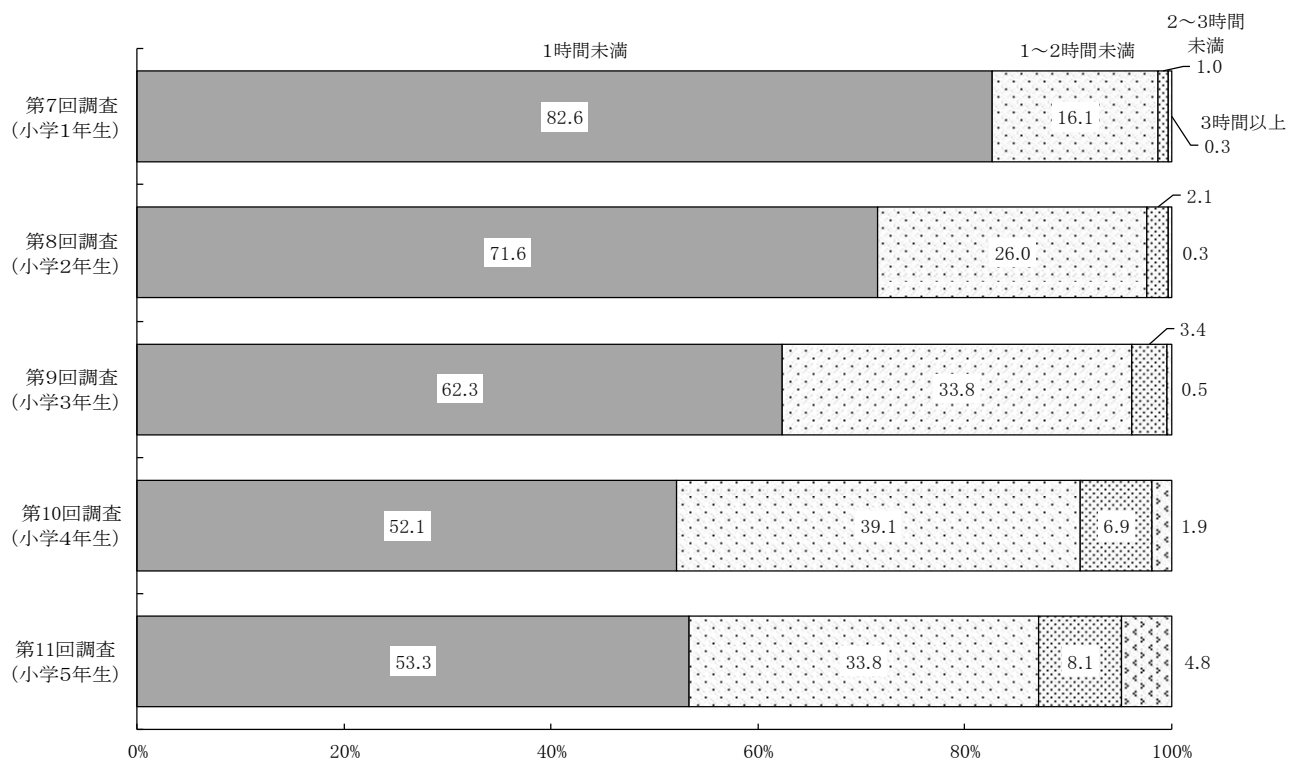
注：第11回調査の回答を得た者(平成13年出生児総数32,913、平成22年出生児総数23,216)を集計。

図10 学校以外での勉強状況(登校日)の変化



注：第7回調査から第11回調査まですべて回答を得た者(総数19,963)を集計。

図11 学校以外での1日の勉強時間(登校日)の変化



注：第7回調査から第11回調査まですべて回答を得た者のうち、学校以外での勉強をする者(第7回 19,541、第8回 19,718、第9回 19,713、第10回 19,699、第11回 18,557)を集計。



# 統計表

統計表1 母の就業状況の変化・世代間比較（3頁図1）

（単位：人）

就業状況 調査回	平成22年出生児						平成13年出生児	
	総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳	総数	有職
出産1年前	18 220	6 948	3 491	842	6 884	55	28 235	15 383
第1回調査(出産半年後)	18 220	4 635	1 063	785	11 634	103	28 235	7 098
第2回調査	18 220	4 434	2 186	854	10 582	164	28 235	8 492
第3回調査	18 220	4 324	2 912	1 008	9 831	145	28 235	・
第4回調査	18 220	4 314	3 558	1 186	8 848	314	28 235	11 408
第5回調査	18 220	4 503	4 662	1 242	7 771	42	28 235	12 927
第6回調査	18 220	4 571	5 330	1 252	7 024	43	28 235	14 229
第7回調査	18 220	4 708	6 156	1 271	6 037	48	28 235	15 568
第8回調査	18 220	4 789	7 020	1 293	4 854	264	28 235	16 905
第9回調査	18 220	4 922	7 463	1 271	4 350	214	28 235	17 913
第10回調査	18 220	5 118	7 615	1 277	4 170	40	28 235	18 513
第11回調査	18 220	5 299	7 884	1 266	3 748	23	28 235	19 980

注：第1回調査から第11回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。  
なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表 2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較（4頁図2）

（単位：人）

調査回	就業状況	総数	勤め (常勤)	勤め(パート・ アルバイト)	自営業・家業、 内職、その他	無職	不詳	(再掲) 第1回調査から 第11回調査まで 継続して「勤め (常勤)」の母
<b>(1) 出産1年前の母の就業状況</b>								
	平成13年出生児	28 235	9 264	4 525	1 594	12 651	201	
	平成22年出生児	18 220	6 948	3 491	842	6 884	55	
<b>(2) 出産1年前の就業状況が「勤め(常勤)」の母の就業状況の変化</b>								
平成13年出生児								
	第1回調査	9 264	4 437	197	105	4 508	17	・
	第2回調査	9 264	3 950	714	209	4 349	42	・
	第3回調査	・	・	・	・	・	・	・
	第4回調査	9 264	3 702	1 274	398	3 812	78	・
	第5回調査	9 264	3 711	1 544	402	3 480	127	・
	第6回調査	9 264	3 683	1 792	439	3 253	97	・
	第7回調査	9 264	3 592	2 060	502	3 044	66	・
	第8回調査	9 264	3 617	2 328	486	2 715	118	・
	第9回調査	9 264	3 649	2 573	494	2 474	74	・
	第10回調査	9 264	3 675	2 835	428	2 226	100	・
	第11回調査	9 264	3 770	3 076	473	1 903	42	2 338
平成22年出生児								
	第1回調査	6 948	4 557	146	55	2 186	4	・
	第2回調査	6 948	4 117	594	119	2 067	51	・
	第3回調査	6 948	3 905	770	219	2 009	45	・
	第4回調査	6 948	3 773	934	289	1 839	113	・
	第5回調査	6 948	3 848	1 165	269	1 654	12	・
	第6回調査	6 948	3 823	1 326	247	1 536	16	・
	第7回調査	6 948	3 818	1 509	256	1 347	18	・
	第8回調査	6 948	3 744	1 716	294	1 097	97	・
	第9回調査	6 948	3 766	1 819	267	1 000	96	・
	第10回調査	6 948	3 792	1 889	285	964	18	・
	第11回調査	6 948	3 793	2 005	289	858	3	2 460
<b>(3) 出産1年前の就業状況が「勤め(パート・アルバイト)」の母の就業状況の変化</b>								
平成13年出生児								
	第1回調査	4 525	47	659	153	3 644	22	
	第2回調査	4 525	140	989	170	3 211	15	
	第3回調査	・	・	・	・	・	・	
	第4回調査	4 525	264	1 377	245	2 581	58	
	第5回調査	4 525	300	1 574	313	2 255	83	
	第6回調査	4 525	352	1 719	317	2 089	48	
	第7回調査	4 525	405	1 870	319	1 893	38	
	第8回調査	4 525	467	1 968	315	1 723	52	
	第9回調査	4 525	509	2 092	328	1 564	32	
	第10回調査	4 525	552	2 148	310	1 450	65	
	第11回調査	4 525	623	2 351	320	1 209	22	
平成22年出生児								
	第1回調査	3 491	46	820	81	2 536	8	
	第2回調査	3 491	145	1 097	116	2 095	38	
	第3回調査	3 491	202	1 238	149	1 866	36	
	第4回調査	3 491	287	1 318	173	1 658	55	
	第5回調査	3 491	327	1 549	176	1 431	8	
	第6回調査	3 491	359	1 635	204	1 284	9	
	第7回調査	3 491	431	1 750	198	1 100	12	
	第8回調査	3 491	477	1 856	203	904	51	
	第9回調査	3 491	520	1 908	207	811	45	
	第10回調査	3 491	573	1 942	207	762	7	
	第11回調査	3 491	634	1 975	213	662	7	

注：第1回調査から第11回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表3 テレビを見る状況（登校日）の世代間比較（5頁図3）

（単位：人）

	平成22年 出生児	平成13年 出生児
総数	23 216	32 913
テレビを見る	22 048	31 607
テレビを見ない	945	885
不詳	223	421

注：第11回調査の回答を得た者を集計。

統計表4 テレビを見る状況（登校日）の変化（5頁図4）

（単位：人）

	第7回調査	第8回調査	第9回調査	第10回調査	第11回調査
総数	19 963	19 963	19 963	19 963	19 963
テレビを見る	19 306	19 329	19 234	19 429	18 977
テレビを見ない	616	586	651	471	812
不詳	41	48	78	63	174

注：第7回から第11回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表5 テレビを見る時間（登校日）の変化（5頁図5）

（単位：人）

	第7回調査	第8回調査	第9回調査	第10回調査	第11回調査
テレビを見る	19 306	19 329	19 234	19 429	18 977
1時間未満	5 440	5 227	5 300	4 163	4 605
1～2時間未満	8 635	8 499	8 453	8 511	7 259
2～3時間未満	3 794	4 052	3 897	4 672	4 329
3時間以上	1 437	1 551	1 584	2 083	2 784

注：第7回から第11回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表6 コンピュータゲームをする状況（登校日）の世代間比較（6頁図6）

（単位：人）

	平成22年 出生児	平成13年 出生児
総数	23 216	32 913
コンピュータゲームをする	18 297	21 293
コンピュータゲームをしない	4 679	11 121
不詳	240	499

注：第11回調査の回答を得た者を集計。

統計表7 コンピュータゲームをする状況（登校日）の変化（6頁図7）

（単位：人）

	第7回調査	第8回調査	第9回調査	第10回調査	第11回調査
総数	19 963	19 963	19 963	19 963	19 963
コンピュータゲームをする	9 307	10 929	12 431	14 873	15 722
コンピュータゲームをしない	10 598	8 972	7 437	4 976	4 053
不詳	58	62	95	114	188

注：第7回調査から第11回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表8 コンピュータゲームをする時間（登校日）の変化（6頁図8）

（単位：人）

	第7回調査	第8回調査	第9回調査	第10回調査	第11回調査
コンピュータゲームをする	9 307	10 929	12 431	14 873	15 722
1時間未満	6 648	7 342	7 473	7 170	5 920
1～2時間未満	2 221	2 902	3 879	5 764	6 092
2～3時間未満	346	542	843	1 438	2 385
3時間以上	92	143	236	501	1 325

注：第7回調査から第11回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表 9 学校以外での勉強状況（登校日）の世代間比較（7頁図9）

（単位：人）

	平成22年 出生児	平成13年 出生児
総数	23 216	32 913
学校以外で勉強をする	21 533	30 393
学校以外で勉強をしない	1 467	2 031
不詳	216	489

注：第11回調査の回答を得た者を集計。

統計表 10 学校以外での勉強状況（登校日）の変化（7頁図10）

（単位：人）

	第7回調査	第8回調査	第9回調査	第10回調査	第11回調査
総数	19 963	19 963	19 963	19 963	19 963
学校以外で勉強をする	19 541	19 718	19 713	19 699	18 557
学校以外で勉強をしない	352	209	205	207	1 240
不詳	70	36	45	57	166

注：第7回調査から第11回調査まですべて回答を得た者を集計。

統計表 11 学校以外での1日の勉強時間（登校日）の変化（7頁図11）

（単位：人）

	第7回調査	第8回調査	第9回調査	第10回調査	第11回調査
学校以外で勉強をする	19 541	19 718	19 713	19 699	18 557
1時間未満	16 147	14 119	12 283	10 270	9 885
1～2時間未満	3 139	5 128	6 669	7 694	6 275
2～3時間未満	191	418	667	1 367	1 498
3時間以上	64	53	94	368	899

注：第7回調査から第11回調査まですべて回答を得た者を集計。

## 用語の定義

### (1) 同居者

次の者は含まない。

- ① 長期（概ね3か月以上）にわたって不在にしている者。
- ② 現在不在で不在期間が長期にわたることがわかっている者。  
ただし、①、②の者で途中定期的に帰宅する者は同居者としている。

### (2) 就業状況

「有職」

勤め（常勤）、勤め（パート・アルバイト）、自営業・家業、内職、その他を合わせたもの。  
育児休業中等の休業を含む。

「勤め（常勤）」

事業所の所定労働時間を通じて勤務する者。

「勤め（パート・アルバイト）」

同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない者。

「無職」

家事（専業）、無職、学生を合わせたもの。